

事務事業名		中小企業退職金共済制度加入促進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	商工課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	商工振興係	担当課長名	木村晴一	
	施策	2 活力ある商業・鉱工業の振興					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 事業者に対する助成と支援の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8412	一般	5	1	1	中小企業退職金共済制度加入促進事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	53年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		3-4			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
(独法)勤労者退職金共済機構に加入している中小企業に対し、申請手続きを郵送し取りまとめる。 新規加入従業員(被共済者)1人につき、月額600円を1年間、事業者に補助金として交付する。	中小企業退職金共済制度に加入している事業所で新規加入従業員がいる事業所に対し、補助金を交付した。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	新規加入者の事業所数(補助金申請)	社	121	120	122	122	123
	新規加入従業員数(補助金申請)	人	504	508	510	510	515

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市内の中小企業及び従業員	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	事業所数	社	6,595	6,595	6,595	6,595	6,595
	従業員数	人	54,448	54,448	54,448	54,448	54,448

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

共済掛金の一部を補助することにより、加入促進と従業員の福祉増進、雇用の安定を図る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	加入事業所数	社	368	365	366	367	368
	加入従業員数	人	2,793	2,735	2,745	2,752	2,760

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

商業・鉱工業事業者の経営が安定している。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	制度融資申込件数	件	602	570	600	600	600
	各種補助制度補助件数	件	30	20	26	26	29

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,709	1,960	2,016	2,016	2,020	
	事業費計(A)	千円	1,709	1,960	2,016	2,016	2,020	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	1,709	補助金	1,960	補助金	2,016
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	120	120	120	120	120		
人件費計(B)	千円	467	467	467	467	467		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,176	2,427	2,483	2,483	2,487		

事務事業名	中小企業退職金共済制度加入促進事業	担当部	産業文化部	担当課	商工課	担当係	商工振興係
-------	-------------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	中小企業退職金共済法に基づく、退職金制度の加入促進と従業員の福祉増進、雇用の安定を図るため、昭和53年度より実施する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国における組織が、勤労者退職金共済機構から、平成15年10月に、(独)勤労者退職金共済機構になる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	広報媒体を活用し、未加入企業へのPRを積極的に行い、加入促進を図る。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	共済掛金の一部を補助することにより、加入促進と従業員の福祉増進、雇用の安定に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	共済掛金の一部を補助することにより、加入促進と従業員の福祉増進、雇用の安定を図るものであり、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	加入促進と従業員の福祉増進、雇用の安定を図るうえからも妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	制度の周知を図り、多くの中小企業者に取り組んでもらうよう働きかける。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は、共済制度の加入を促進するものであり、削減の余地はない。 人件費も、該当事業所へ申請の手続きの送付を行い、補助金の支出を行う事務であり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	労働者雇用安定のために、加入事業者に補助金を支出しているので、目的も妥当である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 退職金制度の加入促進が図れ、従業員の福祉増進、雇用の安定が図れた場合。 または、代替事業に切り替える場合。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			